

バイリンガル指導者を活用した日本語学習支援事業
 (文化庁平成 27 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業)

国際課

1 事業目的

外国籍県民等の自立を支援するとともに、日本語能力の向上を図るため、26 年度に引き続きバイリンガル人材を育成し、その者を活用して、生活に必要な日本語表現や日本の制度・習慣を伝える日本語教室を実施する。

また、地域日本語教育の推進のため、支援ボランティアのスキルアップを図るとともに、関係者により推進のあり方を検討する。

2 事業内容

(1) バイリンガル日本語指導者等の育成と活用 (委託)

ア バイリンガル日本語指導者育成講座の開催

バイリンガルでの日本語指導方法、日本社会の習慣やマナー、子育て等で必要な日本語表現等についての知識を講義する。

場所	安曇野市
時間数	2 時間/回×14 回=28 時間
対象	日本語能力試験 N2 以上を取得あるいは同等レベルの外国出身者
講師	(一財) グローバル人財サポート浜松 代表 堀永乃氏、東京女子大学 教授 石井恵理子氏 等

イ 外国人コミュニティのための日本語教室の開催

上記アの講座修了者及び H26 年度のバイリンガル日本語指導者が、地域の外国籍県民等に対して、生活に必要な日本語表現等について講義する。

場所	①安曇野市、松本市、諏訪市/②長野市、須坂市、佐久市
時間数	① 4 時間/回×5 回×3 地域=60 時間 ② 4 時間/回×1 回×3 地域=12 時間
対象	来日して間もない者、学習機会に恵まれなかった者等

ウ H26 年度バイリンガル日本語指導者及び地域の日本語学習支援ボランティアのスキルアップ研修

地域日本語教室等で活動中のボランティアに対して、スキルアップのための知識を伝える研修会を行う。

場所	長野市
時間数	2 時間×10 回=20 時間
対象	H26 年度バイリンガル日本語指導者、地域日本語教室等で活動中のボランティア等
講師	NPO 法人中信多文化共生ネットワーク社員 佐藤佳子氏ほか

(2) 運営委員会の開催

本事業のカリキュラム検討を行うとともに事業効果の検証を行う。

開催回数	4 回
運営委員会の構成	8 名 (学識経験者、外国籍県民雇用の事業者、市町村担当者、教育委員会、NPO 等)

(3) 日本語学習推進のための検討

効果的な日本語学習支援を行っていくため、関係者により推進のあり方を検討する。

場所	松本市
開催回数	3 回
検討会の構成	日本語教室コーディネーター 等

(4) シンポジウムの開催

上記 (1) ~ (3) の事業成果を外国籍県民、日本語学習支援者、市町村、NPO 等に広く周知し、県内の多文化共生推進の機運を高める。